



## 大滝温泉の現状は どうでしょうか

従来は市で唯一の団体客が宿泊できる温泉としてにぎわっていましたが、周辺に温泉施設がたくさんできたことや家族旅行が主体となったこと、また、特に名所がないことなどから、かつてのような華やかさはなくなっています。

以上、おおまかに現状を伺ってうえで、今後どのようにして湯夢の里の充実を図っていくべきか、利用者のかたがたの意見などを参考に私なりの考えをいくつかにまとめてみました。

## 宣伝など

▽一番大事なところである曲田の交差点の案内標識が、木の枝で見えにくくなっているので何とかしてもらいたいものです。

▽案内標識が少なく、また、民間の標識より小さいので、大きな標識を増設してほしいものです。市では、現在十基ある観光案内板を六十基に増やす計画があるそうです。一方、テレビスポットや観光雑誌、各学校などへのPRに努めていくそうです。

## 施設の改善

▽入浴施設と温水プールの間を屋根付きの渡り廊下などでつないでほしい。

▽男子浴場への通路の階段がきつく、特に高齢者の皆さんにとっては大変のようです。手すりをつけるか、階段のこう配をゆるやかにするとかしてもらいたい。

▽ゆつくりくつろげるように休憩室にキッチンを設置してもらいたい。そうすれば女性のかたの利用が増えると思います。

▽要望の多いのは、施設全体の大型化のようです。

観光バスが立ち寄り入浴しようとしたら、脱衣室や浴槽、洗い場が狭く、一斉に入ることができないという不便を経験したとのこと。予算上の制約もあるとは思いますが、市当局のご配慮をお願いしたいものです。

## 利用の拡大

温水プールの利用拡大が待たれます。ダイエットとしての水泳教室のPRや小中学校の夏季、冬季の休みでの活用が望まれます。

周辺では湯夢湯夢にだけしかないウォーター 슬라이ダーもキーポイントとして宣伝してほしいものです。

## 可能性いっぱいの 私の夢

まもなく、湯夢湯夢の里の近くにマンモス施設「秋田県北部老人福祉総合エリア」がオープンします。湯夢湯夢にはシャトルバスが



越前さんから話を伺っている福岡リポーター(右)

数台到着し、JR大滝温泉駅からさらにはエリアから続々と利用者が降りてきます。温泉好きの人、ダイエットのために来た人、医師から進められて来た人などにごわっています。

当然のごとく、浴槽や脱衣室、休憩室も広くなっています。広場では、レクリエーションやフリーマーケットが随時開催されています。

今回の取材にあたりご案内やご説明いただきました観光物産課の越前さんには大変ご迷惑をおかけしました。

今後、私たちも今まで以上に利用していきたいと思えます。湯夢湯夢の里発展を祈りつつ、今回の取材の報告とします。